

(3)安全なまちづくり

新規 救急搬送用船舶改修補助事業

2,000千円

(担当:消防本部)

阿多田島で発生した救急患者の搬送業務に利用する船舶の搬送時における救急患者の負担を軽減するための改修に対して、補助を行います。

拡充 水防体制整備事業

2,723千円

(担当:総務課)

災害時に市民が安心して避難できるよう、指定の避難所に適応できる災害の種類を表示した案内看板を設置します。また、水防活動に必要な資機材を整備します。

防災訓練実施事業

200千円

(担当:総務課)

市民及び防災関係機関が相互に連携・協働した訓練などを実施し、防災意識の高揚を図ります。

消費者生活相談業務(大竹市消費生活センター)

4,049千円

(担当:産業振興課)

架空請求、訪問販売、インターネット販売上でのトラブル、クーリングオフ相談など、専門相談員が消費生活に関する相談に応じるとともに、消費生活問題の啓発・PRを行い、トラブルを未然に防ぐよう努めます。

急傾斜地崩かい対策事業(県営事業負担金)

500千円

(担当:監理課)

栗谷地区の急傾斜地崩かい対策事業を行います。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

水路改良事業

22,600千円

(担当:土木課)

元町南栄排水路について、護岸改修が必要な下流区域の工事を行うことにより、河川機能の保全に努めるとともに、市内各地の水路などの補修・改良などを行います。

急傾斜地崩かい対策事業

9,761千円

(担当:土木課)

急傾斜地崩かい危険個所において、住宅地背後の崖面崩かいを防止するための擁壁等を設置することにより、土砂災害から市民の生命を守り、安全で住みやすい生活環境の整備を図ります。
平成26年度は、木野地区において崩かい対策工事を実施します。
※事業費には事務費を含みます。

化学機動隊資機材整備事業

769千円

(担当:消防本部)

重大な化学災害に対応するため、専門知識を持った精鋭部隊「化学機動隊(大竹ハズマツ)」が使用する資機材を整備します。万が一重大な災害が発生した場合、市民の安全を確保し、安心して暮らせるまちを構築することを目指します。

消防車両整備事業

89,365千円

(担当:消防本部)

老朽化した消防署に配備されている救助工作車を、ポンプ機能を搭載したポンプ付救助工作車に更新します。

消防団車両整備事業

6,783千円

(担当:消防本部)

老朽化した第2分団(本町地区)の小型動力ポンプ積載車を更新します。